

## 令和7年度

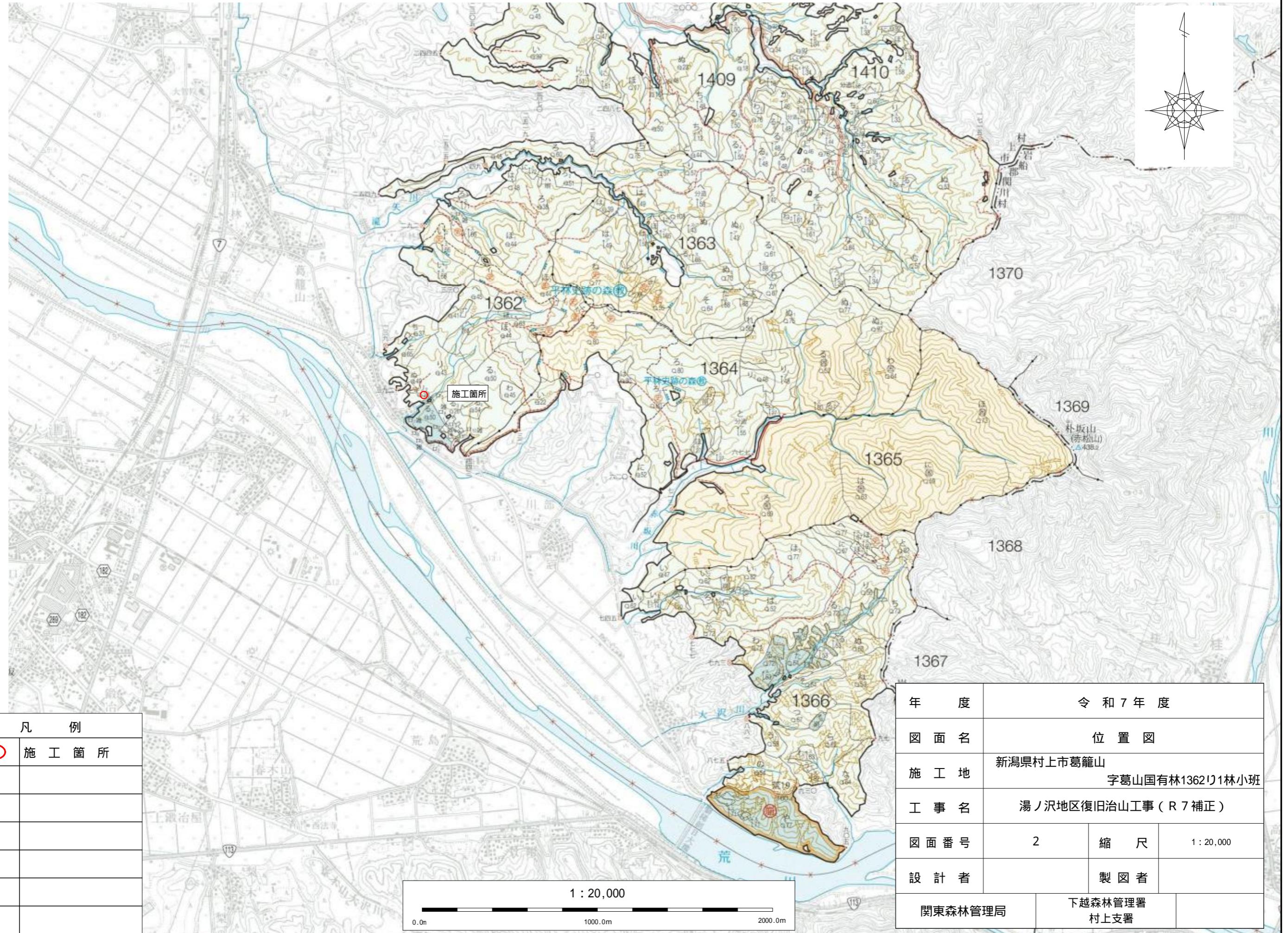
施工地	新潟県村上市葛籠山字葛山国有林1362り1林小班								
工事名	湯ノ沢地区復旧治山工事(R7補正)								
工種	山腹工	数量	0.03ha	渓床 安定面積	—	貯砂量	—	現渓床 勾配	—
集水面積	ha	崩壊の 方位	S	山腹 平均斜面	度 9~69	海拔高	m 30~50	計画 勾配	—
	—	有林地	% 100	無林地	% 0	年間 降雨量	mm 2,687.2	最大 日雨量	mm 380
地質	礫岩、砂岩及び酸性凝灰岩、黒雲母花崗閃綠岩								
関東森林管理局					下越森林管理署村上支署				

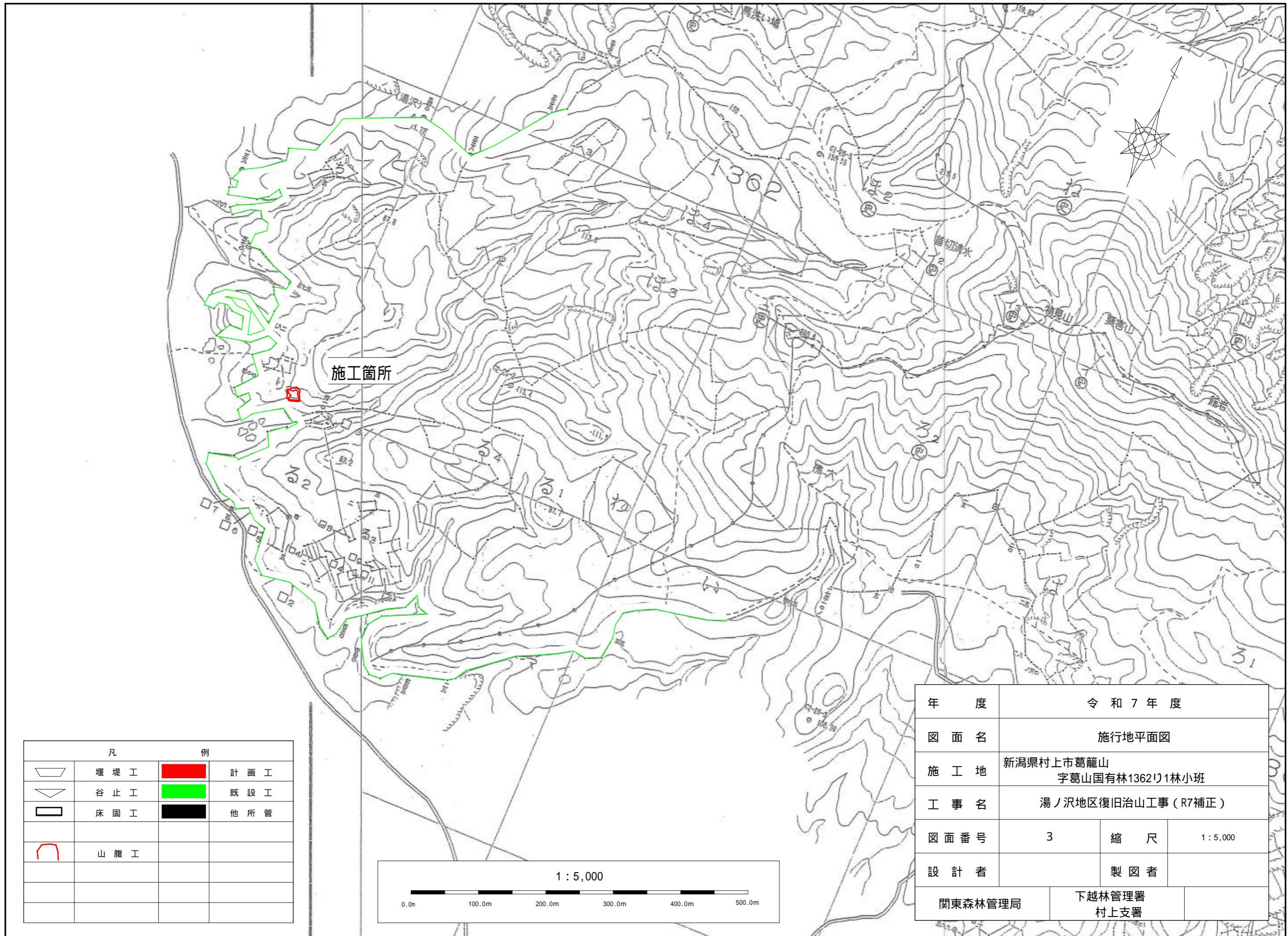
## 図面目録

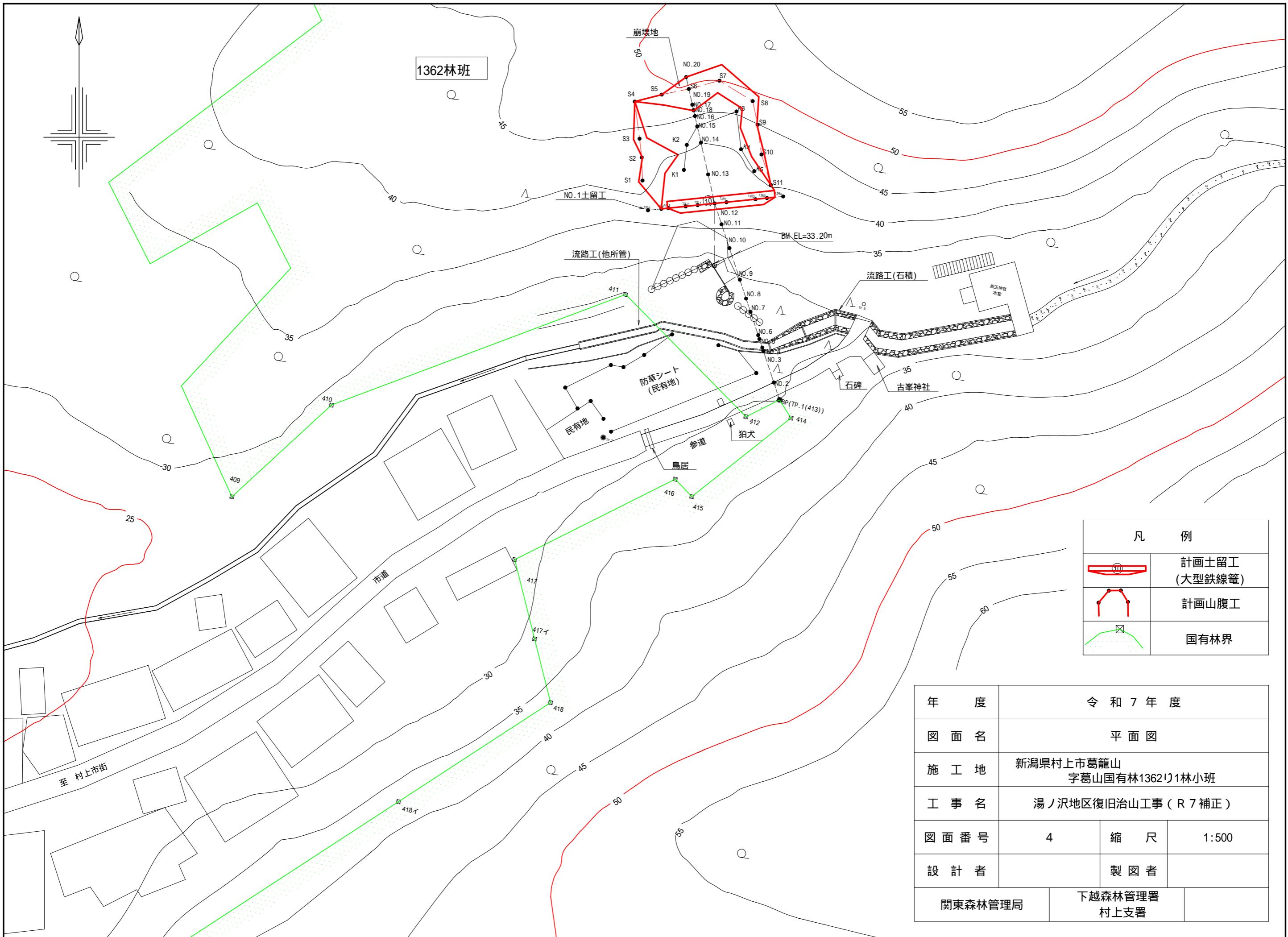
番号	図面名	葉数
1	位置図 1:50,000	1
2	位置図 1:20,000	1
3	施工地平面図	1
4	平面図	1
5	山腹縦断面図	1
6	工種配置図	1
7	No.1土留工構造図 (大型鉄線籠)	1
8	No.1土留工床掘・埋戻し計算図	1
9	大型鉄線籠 各部材詳細図	1
10	A地区斜面積計算図	1
11	アンカ一併用金網張工 標準構造図	1
12	アンカ一併用金網張工 展開図	1
13	アンカ一併用金網張工 部品詳細図	1
14	のり切工計算図	1
15~18	標準図(植生マット、丸太筋工(C)、暗渠工、植生土のう水路工)	4
19	仮施設計画図	1
計		19

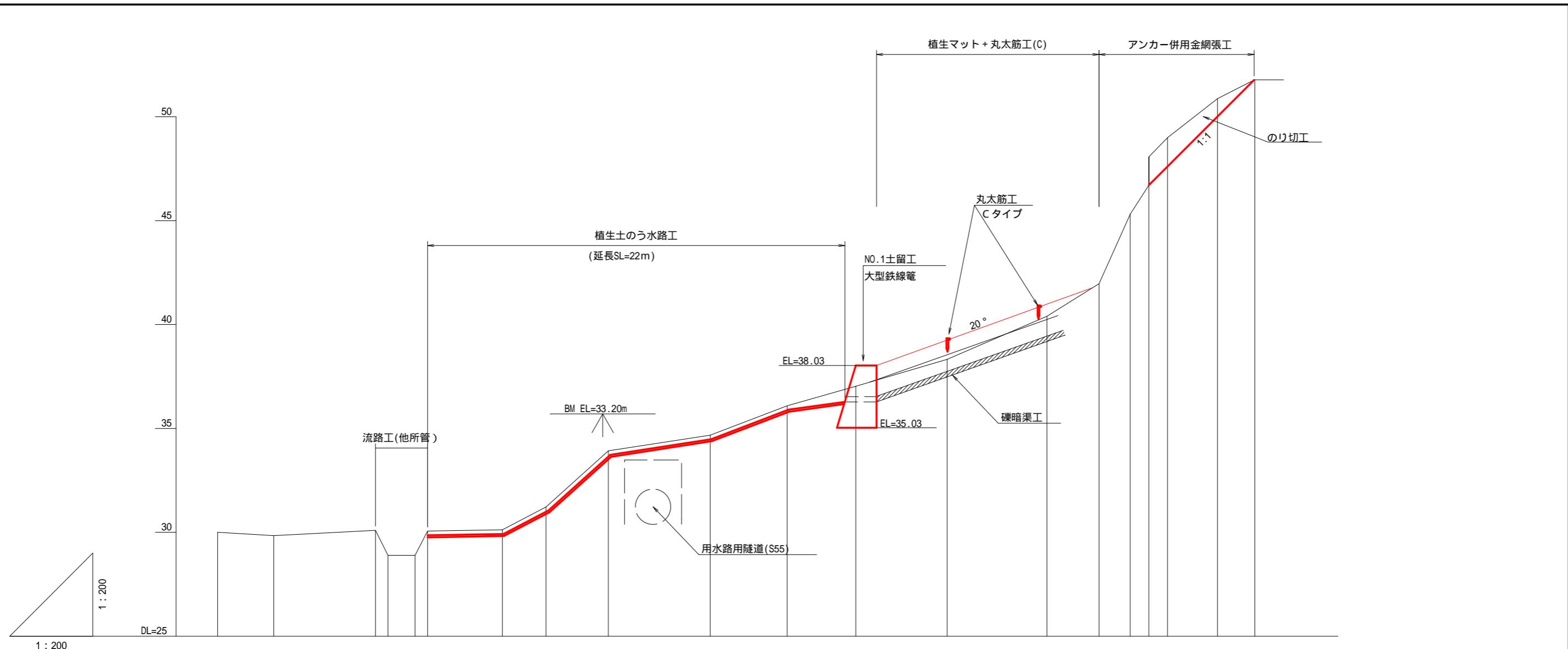
# 位置図



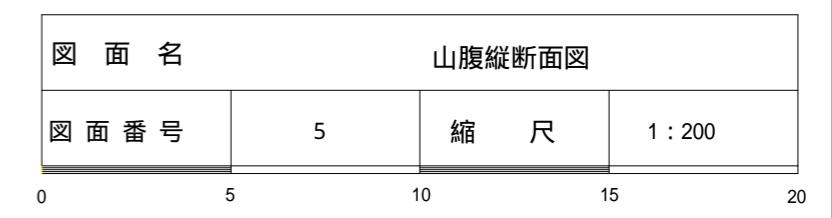


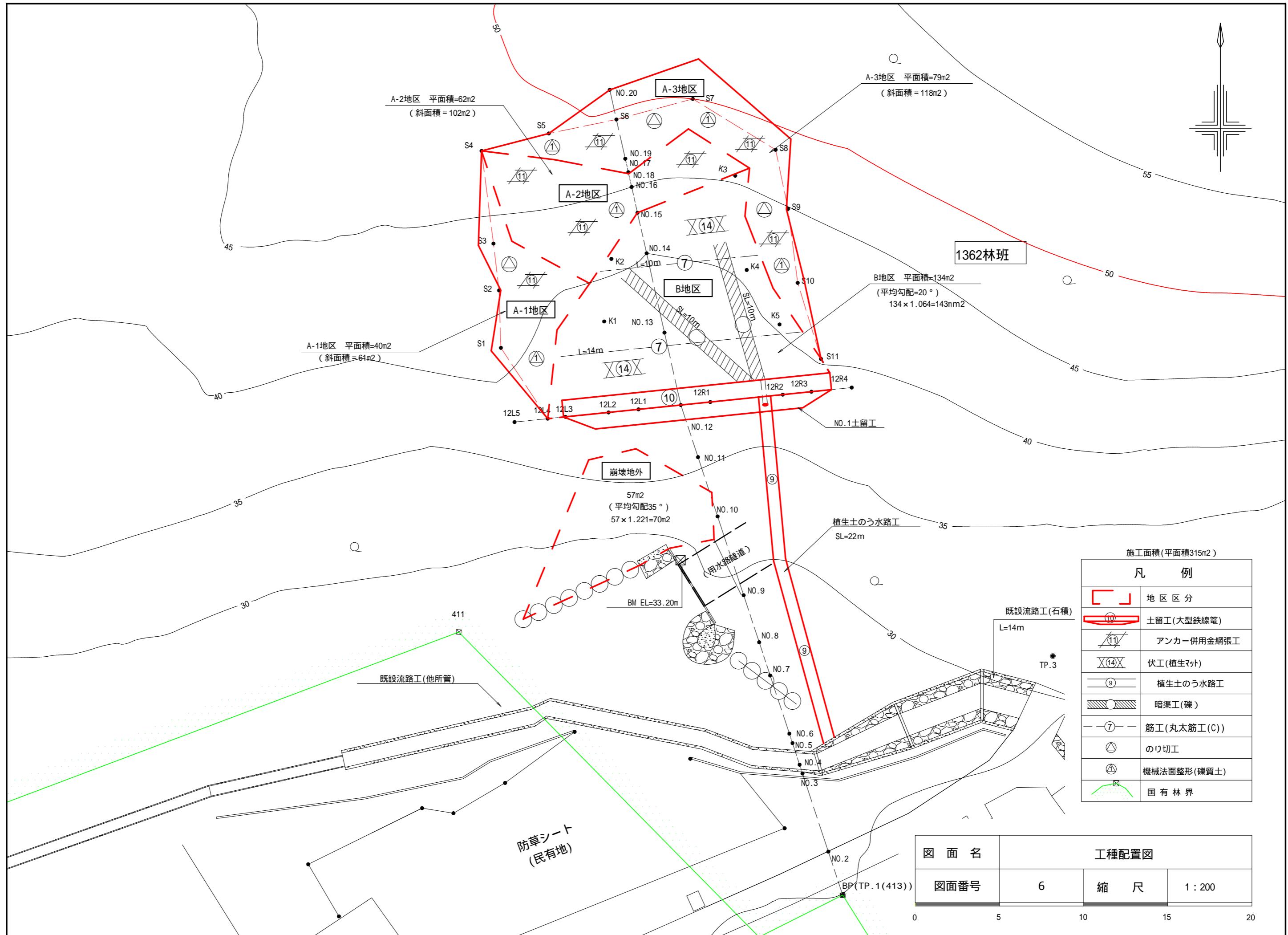




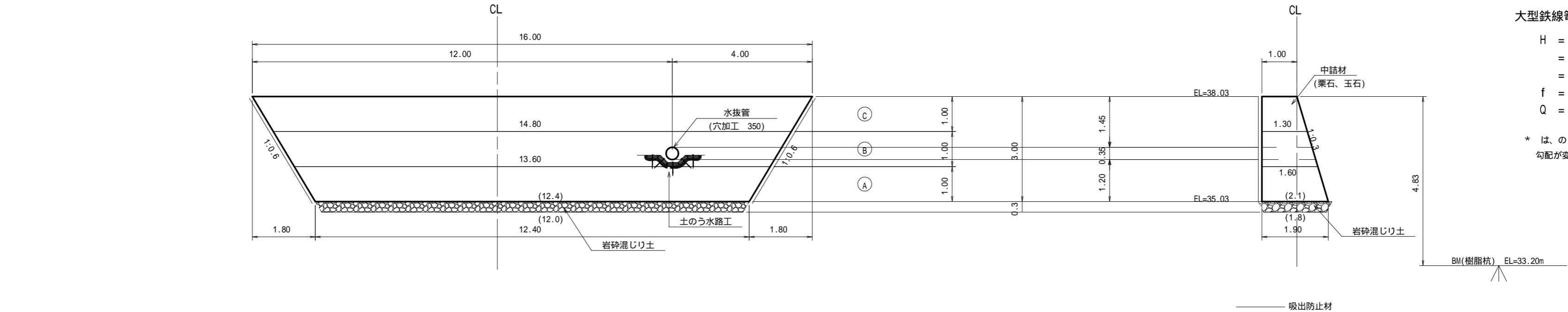


測点番号	水平距離	垂直距離	地盤高	山腹勾配	工作物高	床挖深
BP (TP.1)	0.0	0.0	30.00			
NO.2	2.7	-0.16	29.84			
NO.3	4.9	7.6	30.10	0.26	0.00	-0.26
NO.4	0.6	8.2	28.89	-1.21	0.00	0.6
NO.5	1.3	9.5	28.89	0.00	0.00	1.3
NO.6	0.6	10.1	30.06	1.17	0.00	0.6
NO.7	3.6	13.7	30.12	0.06	0.06	3.6
NO.8	2.1	15.8	31.22	1.10	0.06	2.1
NO.9	3.0	18.8	33.92	37	0.06	3.0
NO.10	4.9	23.7	34.68	9	0.06	4.9
NO.11	3.7	27.4	36.09	18	0.06	3.7
NO.12	3.3	30.7	37.03	37.03	0.06	3.3
NO.13	4.4	35.1	38.33	27	0.06	4.4
NO.14	4.8	39.9	40.40	69	0.06	4.8
NO.15	2.5	42.4	41.97	40	0.06	2.5
NO.16	1.5	43.9	45.31	40	0.06	1.5
NO.17	0.9	44.8	46.71	40	0.06	0.9
NO.18	0.9	44.8	48.07	40	0.06	0.9
NO.19	0.9	45.7	48.99	40	0.06	0.9
S6	2.4	48.1	50.87	27	0.06	2.4
NO.20	1.8	49.9	51.79	27	0.06	1.8

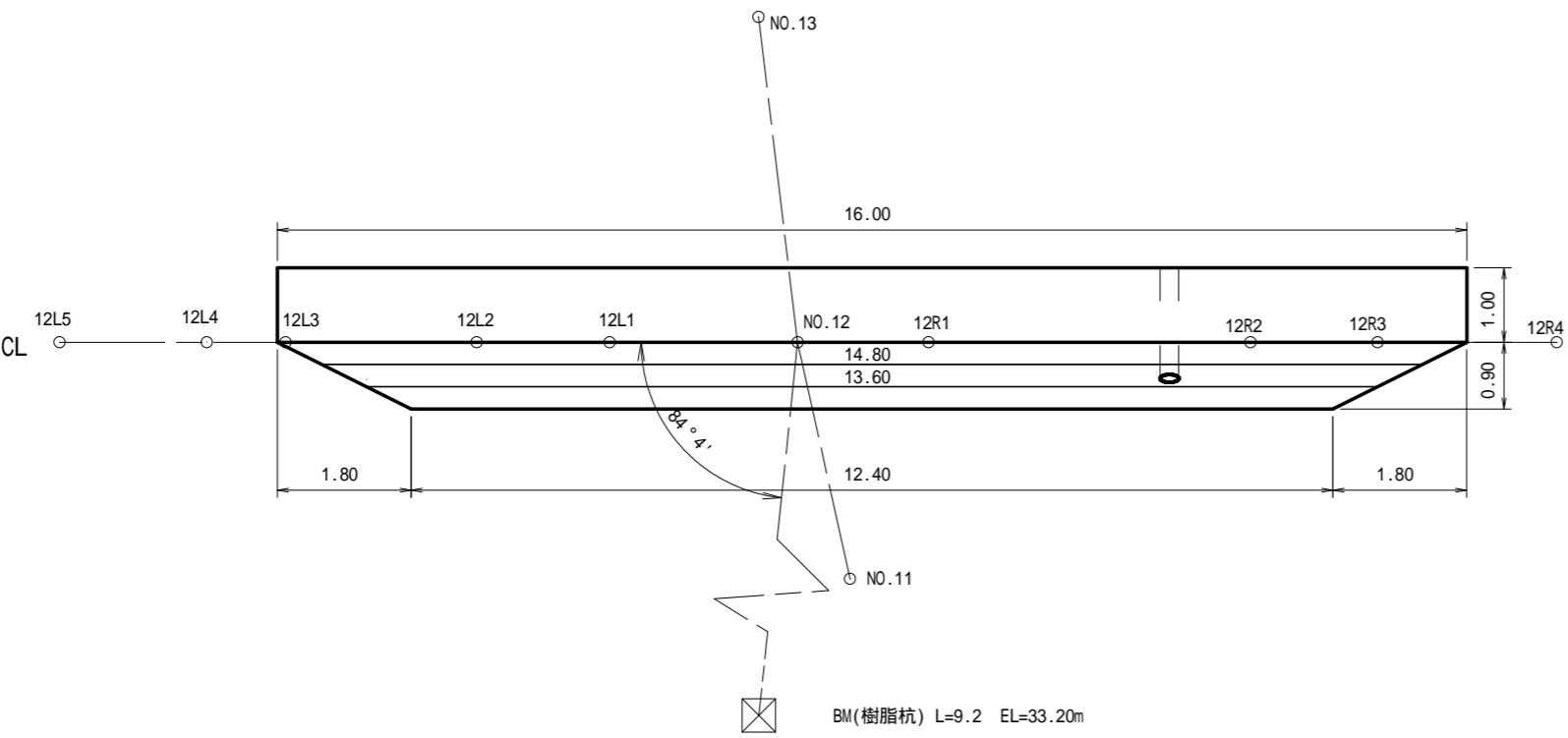




正面図

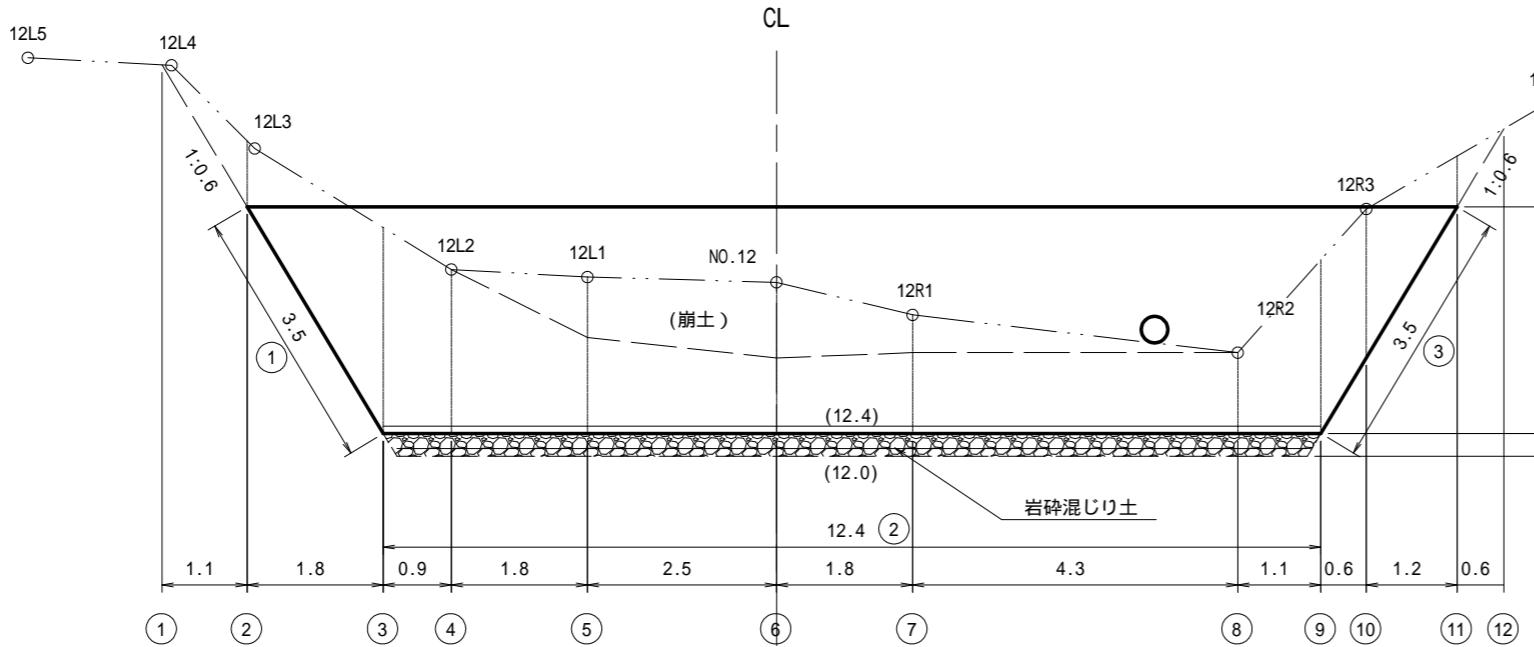


平面図

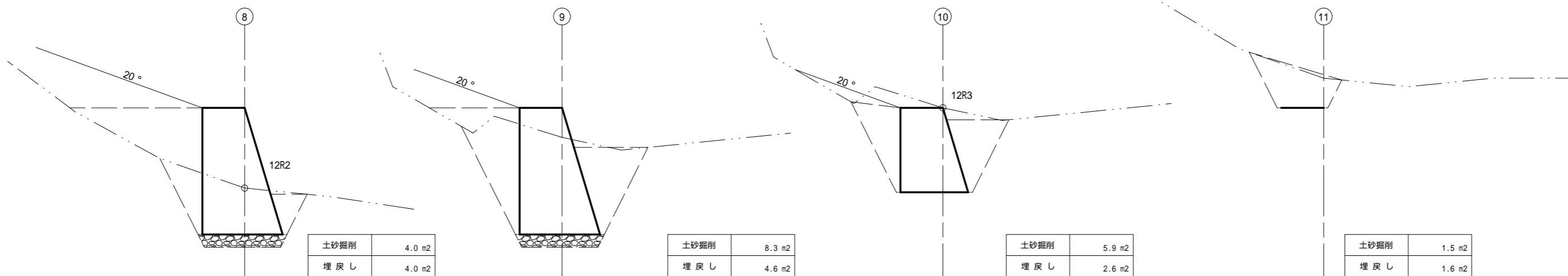
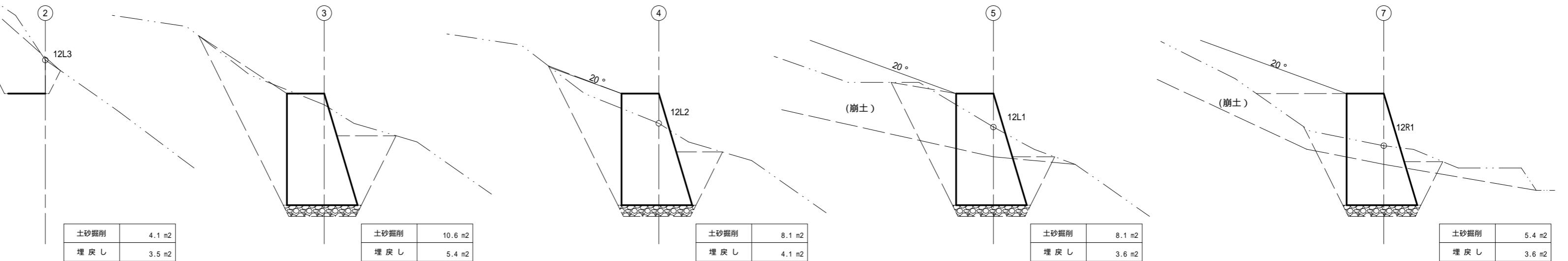
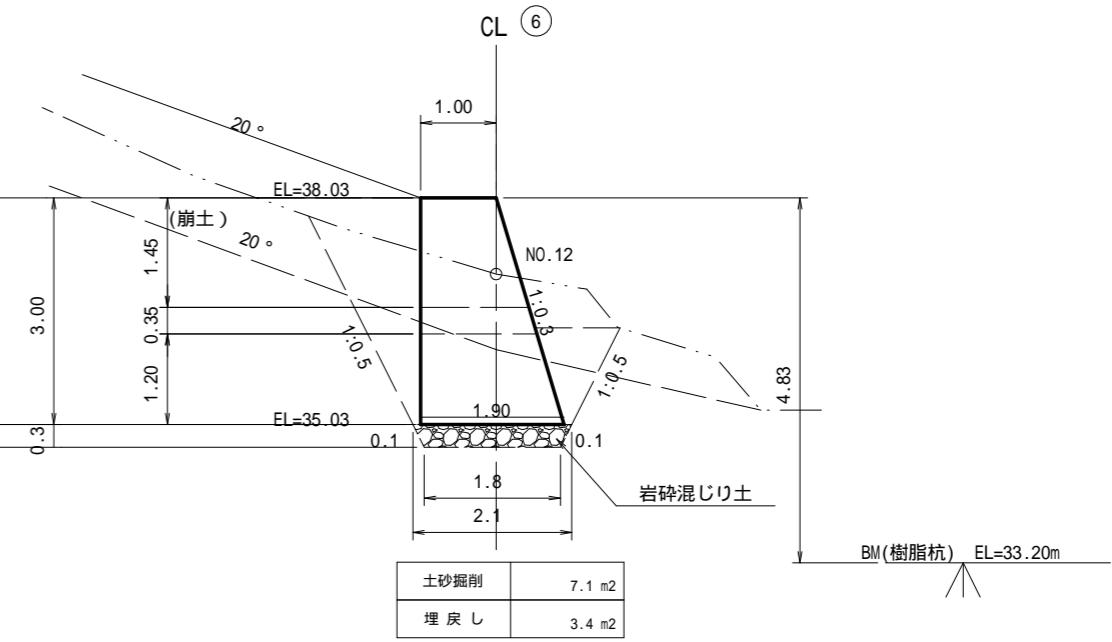


年 度	令 和 7 年 度		
図 面 名	N0.1土留工構造図 (大型鉄線籠)		
施 工 地	新潟県村上市葛籠山 字葛山国有林136211林小班		
工 事 名	湯ノ沢地区復旧治山工事 (R 7 補正)		
図 面 番 号	7	縮 尺	1 : 100
設 計 者		製 図 者	
関東森林管理局	下越森林管理署 村上支署		

床掘計算図



側面図



図面名 NO.1土留工床掘・埋戻し計算図

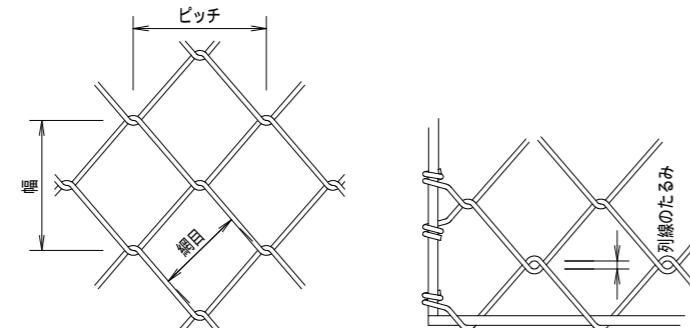
図面番号 8 縮尺 1:100

0 5 10

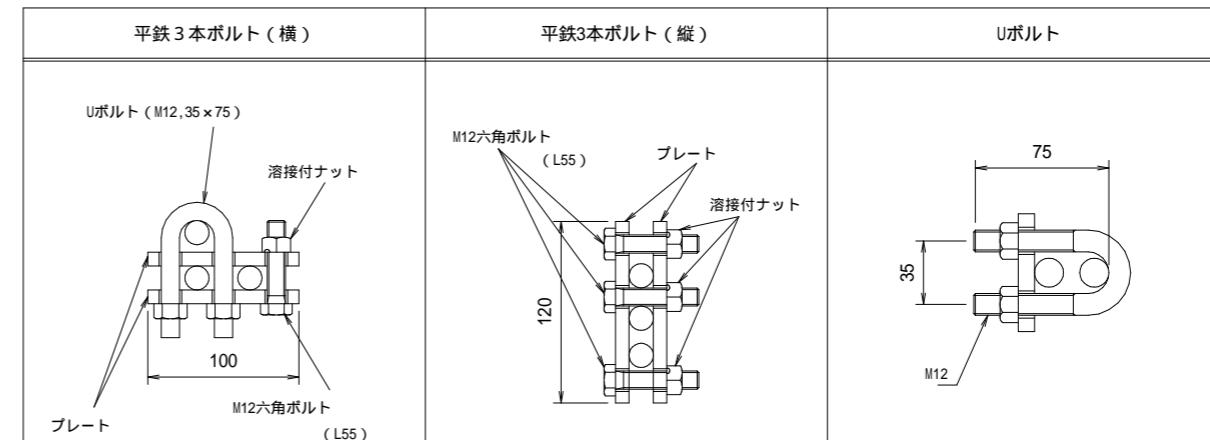
### 特記仕様

部位	鋼材	材質・表面処理			
金網部	8mm	亜鉛アルミ合金メッキ鉄線 (アルミ10%以上、メッキ付着量300g/m <sup>2</sup> 以上)			
柱部	一般構造用圧延鋼材 13・16mm	溶融亜鉛めっき JIS H8641 HDZT77			
連結金具	<M12> Uボルト(35×75) 平鉄3本ボルト(横)	一般構造用圧延鋼材 溶融亜鉛めっき			
	軟鋼線材 又は 冷間圧造用炭素鋼線材	溶融亜鉛めっき			
金網詳細仕様(単位:mm)					
線径	網目	ピッチ	幅	たるみ	
150mm目	8±0.12	150±7	220±5	215±15	35以内
130mm目	8±0.12	130±6	180±10	195±15	35以内

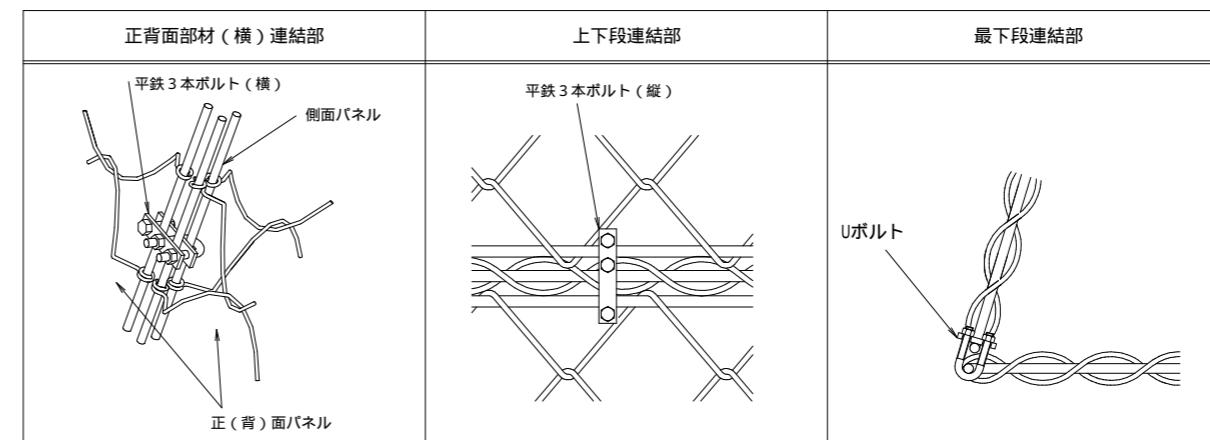
金網詳細仕様寸法図



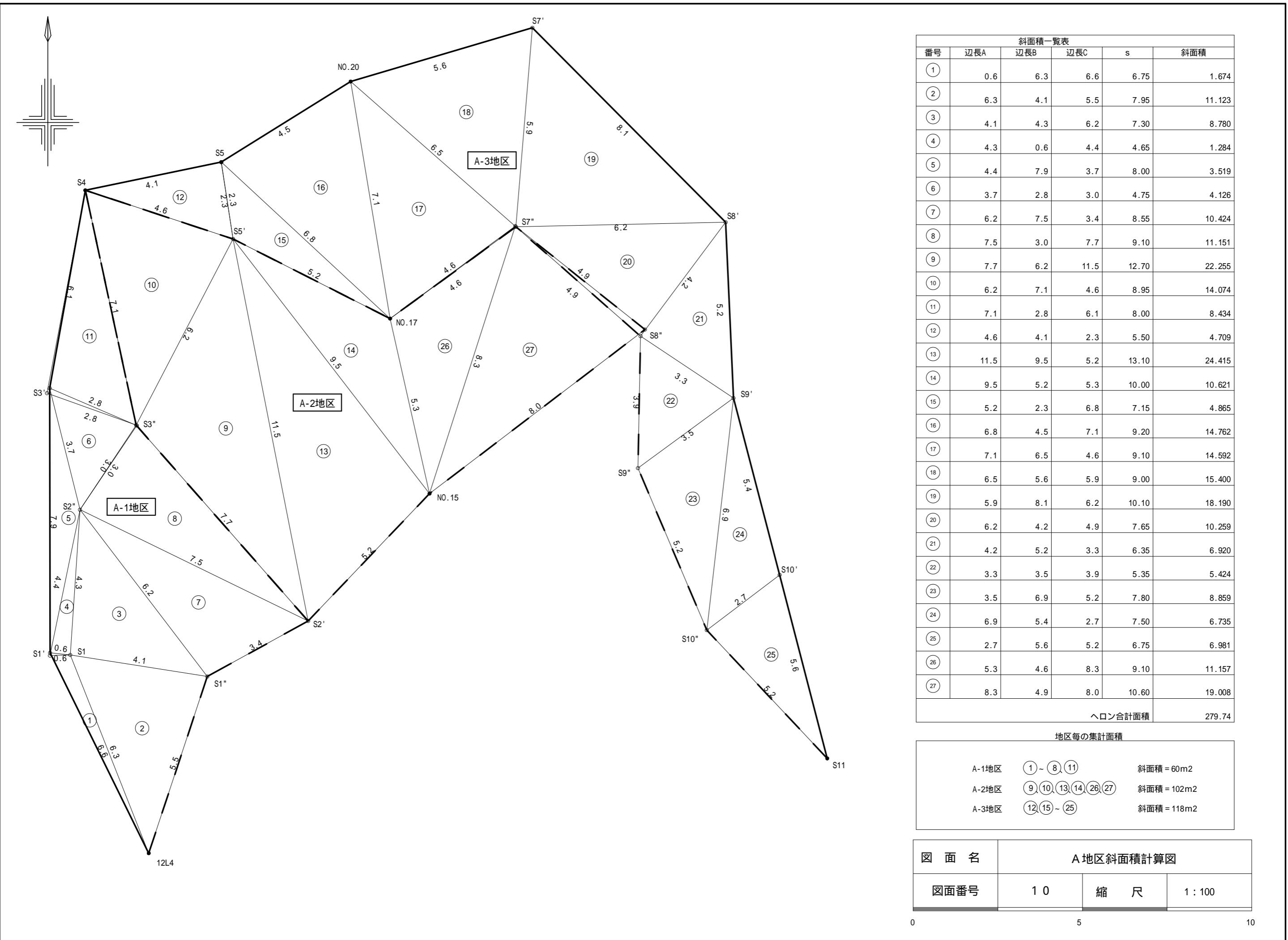
連結金具はM12を用いること。



各部詳細図

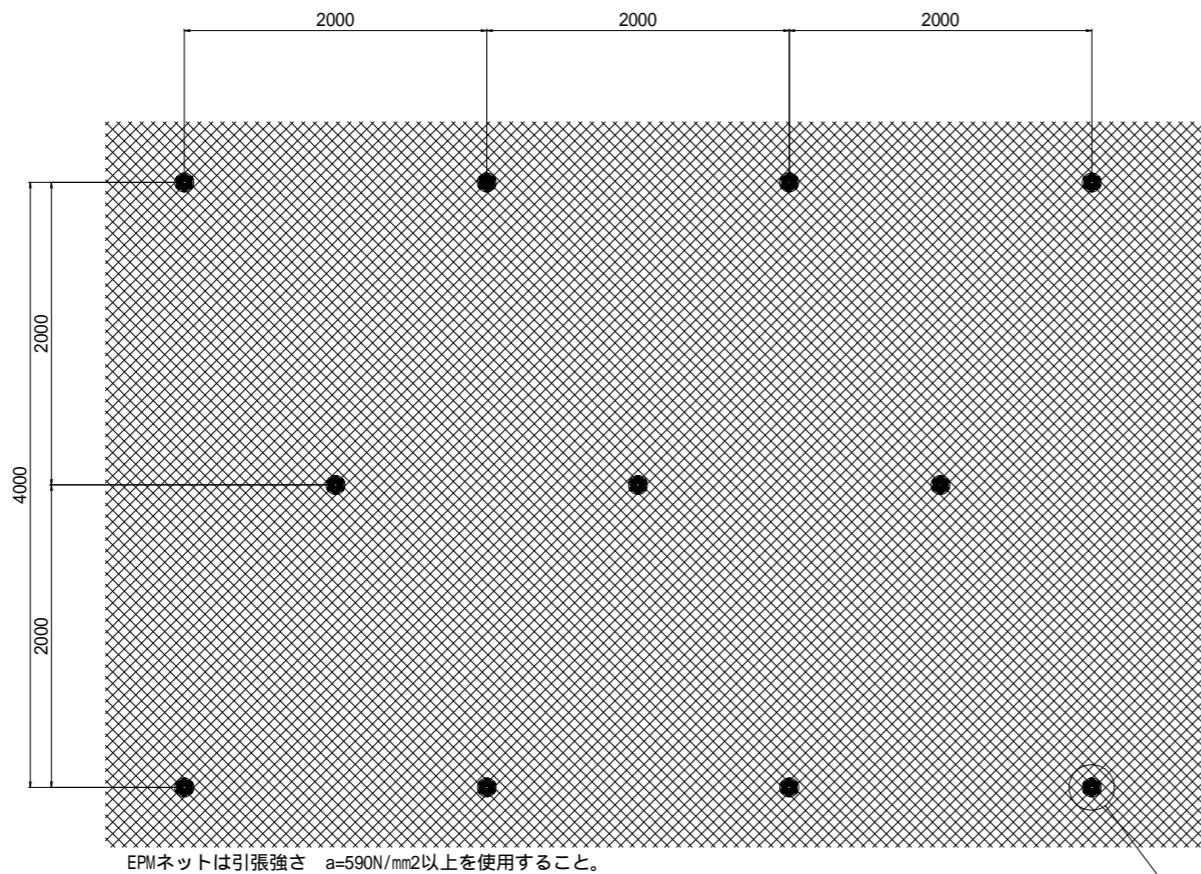


図面名	大型鉄線籠 各部材詳細図		
図面番号	9	縮尺	-



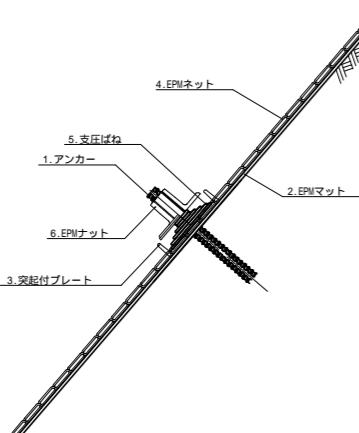
### 標準構造図

配置図 S=1:20



A部断面図

S=1:5

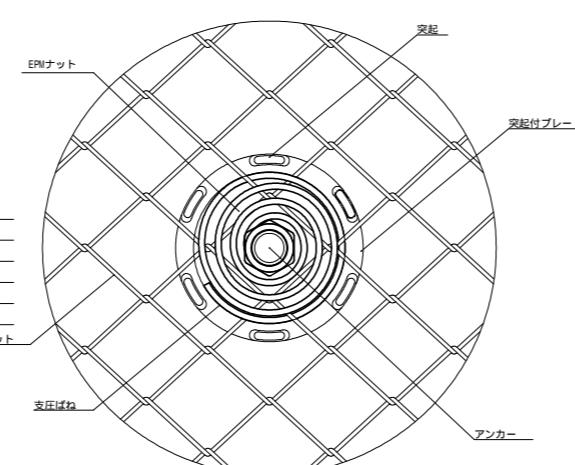


設置順序

1. アンカー
2. EPMマット
3. 突起付プレート
4. EPMネット
5. 支圧ばね
6. EPMナット

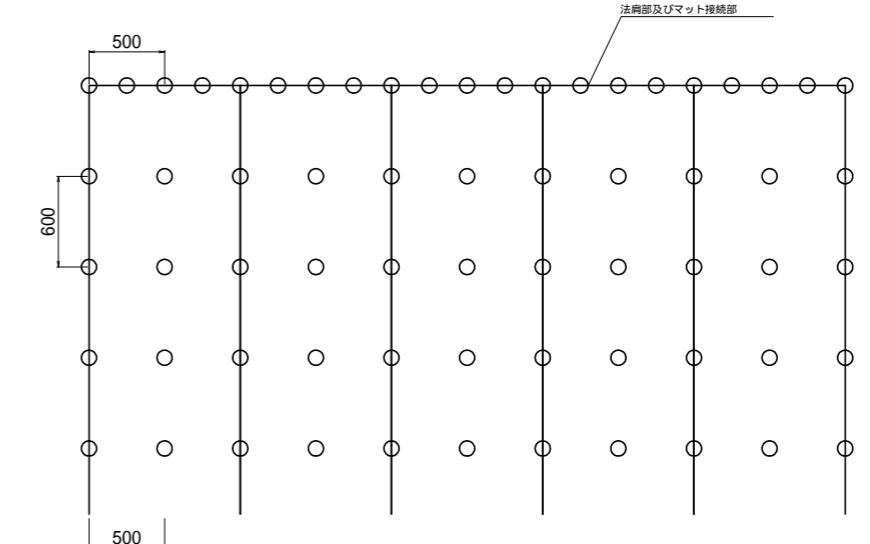
A部詳細図

S=1:2



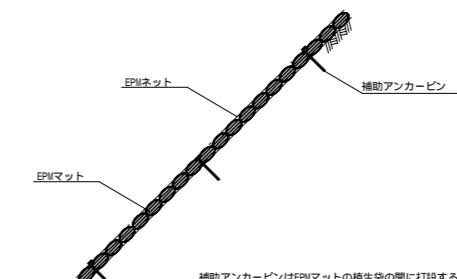
### EPMマット・EPMネット設置時アンカーピン打設図

平面図 S=1:20



法肩部及び縦のマット接続部は適宜 補助アンカーピンの増し打ちを行う。  
寸法値は目安であり、現地不陸や地質等の状況に応じて適宜打設位置を決定するものとする。

断面図 No scale



使用部材一覧表

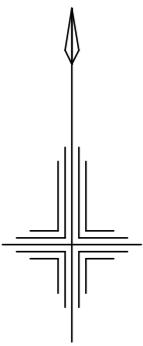
部材名稱	形状・寸法等	単位	数量	摘要
EPMマット	EPM-G-2型 1.0m×5.0m	m2	335.6	割増率20%
EPMネット	アルミ合金メッキ 2.6×50×50	m2	363.6	割増率30%
補助アンカーピン	9 L=200mm	本	1120	4本/m2
アンカー	SD345 D19 L=1000	本	80	
セメント		kg	244	
混和材		リットル	3	
突起付プレート	124-6t	個	80	
支圧ばね	100×150	個	80	
EPMナット	D19用	個	80	
バッテンスペーサー	D19用	個	160	

( 279.7m2あたり )

図面名	アンカー併用金網張工 標準構造図		
図面番号	11	縮尺	1:20

# 法面展開図

S=1/100



EPMネット  
2.6×50×50

EPMマット

アンカー(削孔 50)  
D19 L=1000

## 施工数量

工種	数量
EPMマット敷設工	279.7m <sup>2</sup>
EPMネット敷設工	279.7m <sup>2</sup>
アンカーアー工	80本

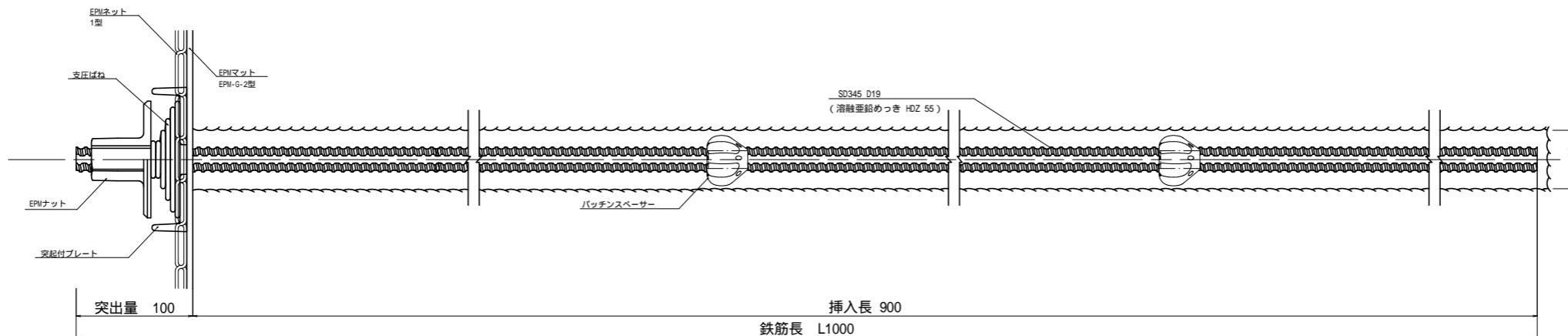
図面名	アンカー併用金網張工展開図		
図面番号	12	縮尺	1:100

0 5 10

部品詳細図

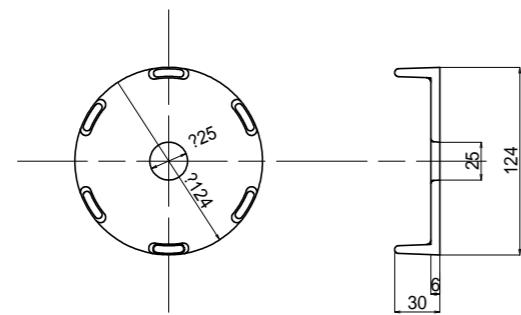
S=1:2

アンカー標準施工図



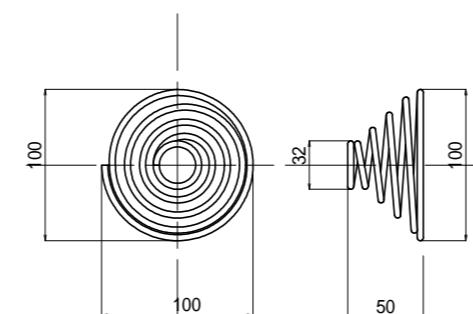
突起付プレート

S=1:2



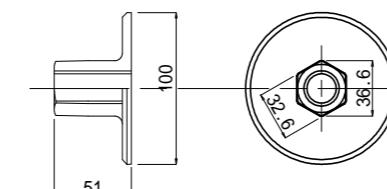
支圧ばね

S=1:2



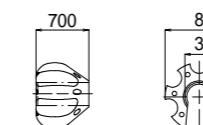
EPMナット

S=1:2



パッキンスペーサー

S=1:2



図面名	アンカー併用金網張工 部品詳細図		
図面番号	13	縮尺	1:2

